

国及び東京都における関連計画

	計画名称	計画期間	歯科分野の指標等	データソース	歯科分野の取組
国	第3次食育推進基本計画	5年間 (平成28年度～平成32年度)	ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす(20歳以上) (49.2%→55%)	国民栄養・健康調査	歯科保健活動における食育推進 すべてのライフステージで歯と口の健康づくりを通じた食育を推進
	健やか親子21(第二次)	10年間 (平成27年度～平成36年度)	①子どものかかりつけ医(医師・歯科医師など)を持つ親の割合(40.9%→50.0%) ②仕上げ磨きをする親の割合(69.6%→80.0%) ③歯肉に炎症がある十代の割合(25.7%→20.0%)	①母子保健課調査 ②母子保健課調査 ③歯科疾患実態調査	
	健康日本21(第二次)	10年間 (平成25年度～平成34年度)	(6)歯・口腔の健康 ①口腔機能の維持・向上(60歳代における咀嚼良好者の割合の状況) (73.4%→80%) ②歯の喪失防止 ア 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加(25.0%→50%) イ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加(60.2%→70%) ウ 40歳で喪失歯のない者の割合の増加(54.1%→75%) ③歯周病を有する者の割合の減少 ア 20代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少(31.7%→25%) イ 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少(37.3%→25%) ウ 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少(54.7%→45%) ④乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加 ア 3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の割合(6都道府県→23都道府県) イ 12歳児の一人平均う蝕歯数が1.0歯未満である都道府県の増加(7都道府県→28都道府県) ⑤過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加(34.1%→65%)	①国民栄養・健康調査 ②歯科疾患実態調査 ③ア国民健康・栄養調査 イ・ウ歯科疾患実態調査 ④ア3歳児歯科健康診査 イ学校保健統計調査 ⑤国民健康・栄養調査	歯・口腔の健康は摂食と構音を良好に保つために重要であり、生活の質の向上にも大きく寄与する。目標は、健全な口腔機能を生涯に渡り維持することができるよう、疾病予防の観点から、歯周病予防、う蝕予防及び歯の喪失防止に加え、口腔機能の維持及び向上等について設定する。 当該目標の達成に向けて、国は、歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発や8020運動の更なる推進等に取り組む。
東京都	保健医療計画	5年間 (平成25年度～平成29年度)			東京都歯科保健目標「いい歯東京」の達成 1 生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの推進 2 かかりつけ歯科医機能の推進 3 在宅療養の積極的な推進
	がん対策推進計画	5年間 (平成25年度～平成29年度)			高度ながん医療の総合的な展開 患者・家族が安心できるがん医療提供体制の推進(医科歯科連携による周術期の口腔ケアの推進)
	健康推進プラン21	10年間 (平成25年度～平成34年度)	歯と口の状態についてほぼ満足している人の割合(80歳以上)((57.9%→増やす) 1 8020達成者の割合(38.9%) 2 「かかりつけ歯科医」を持つ者の割合(3歳児:45.0%、12歳:59.7%) 3 かかりつけ歯科医で定期検診又は予防処置を受けている者の割合(40歳)(59.6%)		
	東京都障害者計画・第4期東京都障害福祉計画	3年間 (平成27年度～平成29年度)			障害者歯科保健医療体制の整備 障害者歯科健康・支援 心身障害児(者)歯科診療施設の確保 都立心身障害者口腔保健センターの設置